

支部活動報告

勝沼ブドウ狩り

長野支部 伊部政司

9月13日、朝から曇一つ無い秋晴れの下、元気な会員15名の大所帯(女性5人)で初秋の列車旅と日本屈指のブドウの産地山梨勝沼でブドウ狩りを大いに楽しんできました。長野駅から勝沼ぶどう郷駅まで、グリーン指定席の「彩り山梨ブドウ号」に乗車しました。早速酒豪先輩の音頭で開宴となり高らかな笑い声が響き渡り八友会の健在を確信しました。車内でワインアドバイザーによるワイン講座もありました。ブドウの用途は世界的にはワイン用が主流だが、日本では殆どが生食用だということや国内醸造ワインの約70%は海外産濃縮果汁を原料としていることなどを知りました。山梨、長野県のおいしいワインの試飲もあり一時ワイン通になったような気がしました。信州の見慣れた里山、山岳風景を後にし、ブドウ棚が目立つ広々とした甲州の丘陵地が展開して間もなく正午に到着しました。協友の農薬も貢献したであろう豊かに実る

ブドウ園に着くやアルコールとは別腹の腹ごしらえが先と芳香漂うブドウ棚の下でパーベキューをしました。

胃袋はすでに満杯気味でしたが本日のメインイベント「食べ放題ブドウ狩り」に挑戦し、数種類のブドウに舌鼓を打ちながら十分に楽しみました。軋む腰や肩を伸ばし真剣に味比べをする先輩の姿には元気を分けて貰いました。勝沼ぶどう郷駅で集合写真を撮り、長野駅に19時15分到着し次回の企画を楽しみにして解散しました。参加の皆様お疲れさまでした。



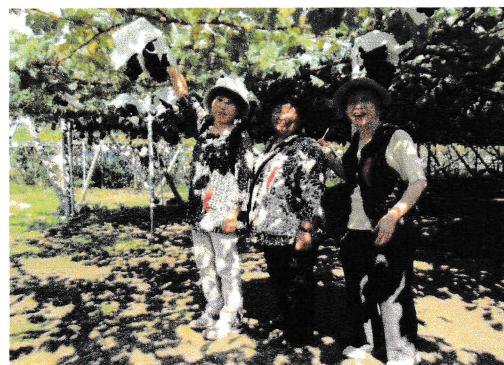
後列：北島、石川、北山、近藤、矢島、田中、森川、川久保・
前列：吉原、丸山、岡部、水野、上原、中村、伊部 (敬称略)

勝沼

縄文時代中期の遺跡として、勝沼には釈迦堂遺跡群の文化圏に含まれる集落跡である宮之上遺跡がある。甲府盆地東部は古代に仏教文化を先進的に受容した地域であるが、町域には古代豪族三枝氏の氏寺である大善寺をはじめとした古刹があり、柏尾山頂の柏尾山経塚は東国では早期の康正5年(1068年)銘をもつ鑄銅製経筒が発見されている経塚として知られる。

中世には石和に本拠を置いた甲斐国守護武田氏の所領があり、下岩崎には一族の分流で武田信昌と守護代跡部氏の抗争において滅亡した岩崎氏の館跡がある。

(NET記事より)



ブドウ狩りを楽しむ3人娘